

よろず相談所《たんよう》は いつもお客様のそばに……

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、2023年9月期決算や経営内容の一端について「半期REPORT2023」としてまとめさせていただきます。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

但陽信用金庫と地域の絆

当金庫は、大正15年に但馬(朝来市生野町)にて創業。山陽地域にご縁を拡げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、地域の中小企業者や住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地域創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

地域貢献・地域活性化支援に関する取組状況

～ボランティアを始めて28年～

■「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など 継続して取り組んでいる活動



当金庫は、阪神淡路大震災以降、28年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣する形で、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。

そのほか、

- ・高齢者宅(約2,300軒)へのケア訪問
 - ・職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
 - ・「認知症バリアフリー宣言」を公表
 - ・食品ロス削減活動の一環として「フードドライブ」を実施
 - ・全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の開催
 - ・「こども110番の店」への登録
 - ・献血活動への協力、骨髄バンクドナー登録会への協力
- などの活動を継続しています。



「認知症バリアフリー宣言」のロゴマーク

■地域における地方創生事業への参画

当金庫は、地域の活性化や雇用の創出に向け、各地域が企画される新たな地域創生事業の創造を支援するとともに、当該事業への参画に積極的に取り組んでいます。

「南但馬グリーンライド2023」に協力しました

2023年5月28日(日)、サイクリングを通じ、朝来市、養父市の魅力ある観光資源や地域の特産品をPRすることで観光客の誘致、地域活性化を目指すイベント「南但馬グリーンライド2023」が開催されました。

2回目の開催となる今回は、サイクリングコースを「鉱石の道」周遊ロングライドコースと、生野「銀山湖」観光ライドコースの2つに分けて実施、132名の参加がありました。

当金庫は大会に協賛するとともに、生野支店・和田山支店の職員がボランティアスタッフとしてお手伝いをさせていただきました。

当金庫は、引き続き地域のイベント開催に積極的に協力していきます。



加古川市とゼロカーボンパートナーシップ協定を締結

2023年6月8日(木) 当金庫は加古川市と「加古川市ゼロカーボンパートナーシップ協定書」を締結しました。加古川市とともに、市内事業者のゼロカーボンに向けた取組みに係る情報提供に努め、脱炭素に貢献する設備投資などの必要資金をご利用いただけるよう努めます。

加古川市ゼロカーボンパートナー証贈呈式

